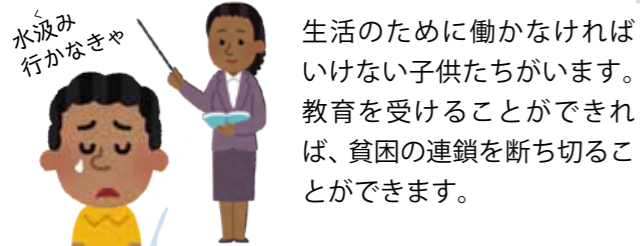


# 世界が直面している悲しい現状の一部を見てみよう

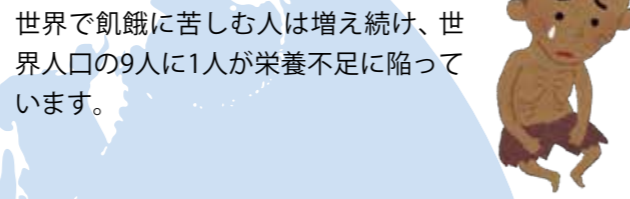
いま世界で何が起きて、誰が困っているのでしょうか。  
SDGsは開発途上国も先進国も含めた世界中の一人ひとりに関わる目標です。



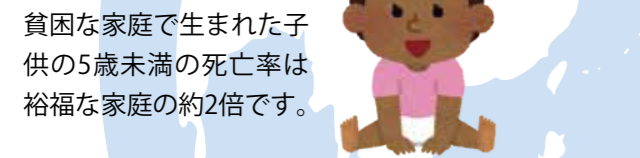
**教育** 約2億6000万人の子どもが  
学校に通えない



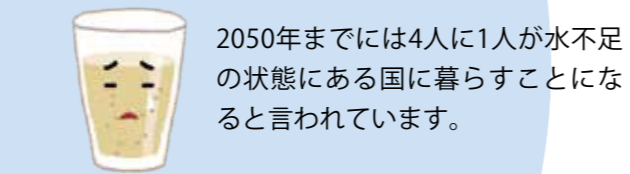
**食料不足** 7億人以上が十分な栄養を  
取ることができない



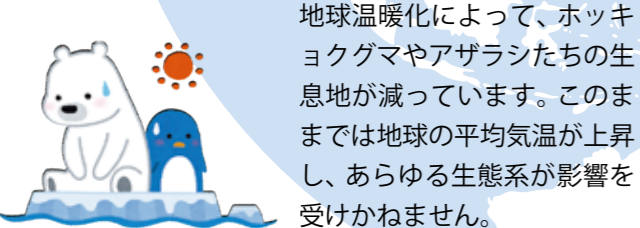
**貧困** 10人に1人が5歳になるまでに  
命を落としている



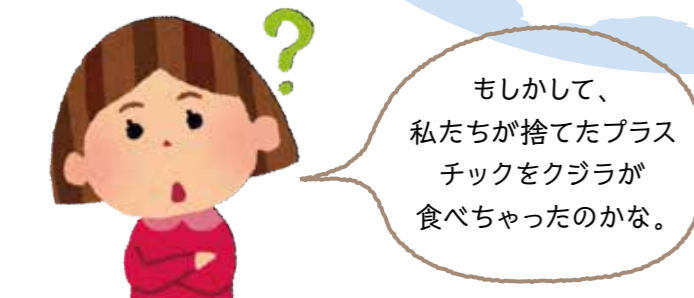
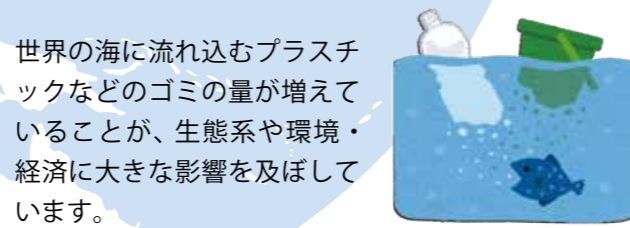
**水と衛生** 10人に3人はきれいな水を  
飲むことができない



**温暖化** 北極・南極の氷がとけている



**プラスチックごみ問題** クジラや魚のおなかから  
プラスチックが出てくる



持続可能な開発目標  
**Sustainable Development Goals**  
SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までの達成を目指す世界共通の目標です。「誰一人取り残さない」という理念の下、貧困や飢餓の撲滅、環境保全、気候変動への対応、男女平等の実現など17の目標を掲げています。

# 地球みんなの幸せのために ～SDGsについて考えよう～

皆さんはSDGs(エスディー・ジーズ)という言葉を目にしたことはありますか。  
アンケート調査によると、国内における認知度は約2割で、多くの人にとってはまだ聞き慣れない言葉かもしれません。  
SDGsとは一体何のことなのか、そして市の取り組みや私たちの生活にどのように関わっているのかを紹介します。



SDGsができる前には、「MDGs(ミレニアム開発目標)」が2000年の国連サミットで採択されていました。これは、2015年を目標年として、主に開発途上国における貧困の削減、初等教育の普及といった目標を掲げ、一定の成功を収めました。先進国においても格差社会による貧困があるなど、新たな課題も見えてきました。そのためSDGsにおいては「誰一人取り残さない」を理念に、開発途上国だけでなく、先進国を含めた全世界が取り組むべきこととしています。

## 誰一人取り残さない

2015年9月、ニューヨーク国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開催されました。そのサミットで採択されたアジェンダ(行動計画)のうち、2030年までに達成するべき目標として掲げられたのが「SDGs(持続可能な開発目標)」です。SDGsでは、貧困や福祉、教育、環境問題、差別格差などの世界の課題を解決するため、17の目標と169のターゲット(具体的な目標)を定めています。それらは、これから世界全体として何を、どんな社会を目指せば良いのかを示す、「道しるべ」となっています。

## SDGsは世界の「道しるべ」



# 2040 小松市制100周年

20年ビジョンの最終ゴール

もっと新しい未来の小松を描こう

# 2030 SDGsの目標年



20年ビジョン最初のターゲット



# SDGs未来都市こまつのまちづくり・ひとづくり

小松市では、時代の変化を先取りしながらまちの未来を「ビジョン」に描き、市の予算にもSDGsの考えをリンクさせながら持続可能なまちづくりを進めています。これからも、市民の皆さんをはじめ様々な人の想いや力とともに、このまち、そして世界のより良い未来を目指して取り組み続けていきます。

## 「SDGs先進度」総合ランキング

**小松市 45位** 回答のあった 658 市区中

(社会分野は 9位)

※全国市区 サステナブル度・SDGs先進度調査より



# 2020

## (仮称)20年ビジョン発表

2030年、2040年を見据えた新しいビジョンをつくり、令和時代のまちづくりを進めます。

# 2019

## SDGs未来都市に選定

小松市のまちづくりは全国的にも評価され、7月1日には、地方創生分野でSDGsの全国モデル都市の一つに選ばれました。

## 次期総合戦略を策定

SDGsの理念や目標を反映した、2020年度からのこまつ創生総合戦略を定めます。



政府主催の授与式で内閣総理大臣より選定証が授与されました。



ふるさとこまつを未来へつなぐ条例 (2016年制定)

将来ビジョンを掲げ、共創とひとづくりでまちづくりを進めることを定めています。



● NEXT10年ビジョン、こまつ創生総合戦略(2015年策定)



10年ビジョン(2011年策定)

# 2011

# SDGsは小松のまちづくり指標

SDGsの17の目標は、経済・社会・環境の3つに大別できます。小松市ではまちづくりの原動力である「共創とひとづくり」を加え、まちづくりの4つの柱として推進していきます。

## 経済分野 たくましい産業を創生

- 目標5 女性が活躍する社会づくり
- 目標7 地球にやさしいエネルギーへ転換
- 目標8 はつらつと働き、産業を成長
- 目標9 新しい技術を積極導入
- 目標2 飢餓をなくそう



## 社会分野 家族みんなの幸せづくり

- 目標3 予防を合言葉に健康長寿
- 目標11 こちよい住まいづくり・まちづくり
- 目標16 やさしいまちづくり
- 目標1 貧困をなくそう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう



## 環境分野 こちよい環境との共生

- 目標13 地球温暖化対策と災害に強いまちづくり
- 目標14 海や河川、美しい水環境づくり
- 目標15 森林や土、豊かな自然環境の保全
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標12 責任をもった生産と消費



## 共創とひとづくり

- 目標4 未来を創るひとづくり
- 目標17 共創のまちづくり



※上記の目標は、国連が掲げる17の目標に沿った小松市の取り組みテーマです。

全国の自治体で、まちの豊かさを幸福度で表現する活動が広がっていますが、小松市は全国に先駆けて金沢大学との連携プロジェクトの一環として、市民の皆さんの幸福度調査に取り組んでいます。

取り組みでは、他都市との比較や小松市独自の5つの指標「住みやすさ」「働く」「あんしん」「健やか」「生きがい・学び」を用いて、平成24年から4回の意識調査を実施しています。この調査では、10の中学校区ごとに集計結果を出し、自分達の地区の特徴を知ること、今後の地域づくりに役立てていただいております。

調査を踏まえ、主観的幸福感の高さやその地域差が明らかになり、地域の強みや課題などが整理されました。

国連で採択されたSDGs推進の活動に際しても、見えにくい現象を分

interview



SDGs推進は幸福度の見える化から

金沢大学人間社会研究域人間科学系  
教授 眞鍋 知子さん

「SDGs推進は幸福度の見える化から」

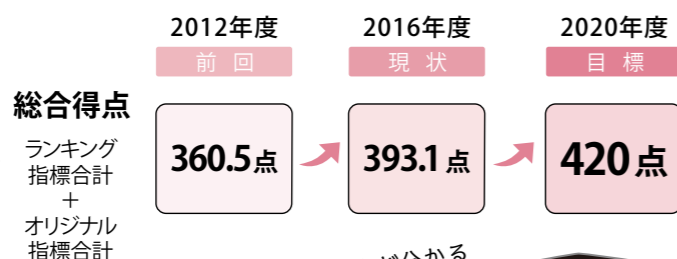
かりやすく明示化し、誰一人取り残さずに課題と目標を共有することが重要です。17の目標全てをカバーすることに専念するのではなく、まずは地域ごとに優先順位を決めて、現状に即した活動の積み重ねから、徐々に総合的な最適化をめざす。こうしたプロセスが欠かせないものと考えています。

小松市がSDGs未来都市として認められたことで、都市の成長や福祉の充実、住みよき向上につながるまちづくりがさらに期待されます。

金沢大学としても、小松市の皆さんの幸福度を可視化し、幸せを実感できるまちづくりをサポートしていきます。



- 住みやすさ
- 働く
- あんしん
- 健やか
- 生きがい・学び



地域の幸福度が分かることで課題と目標が明確になるね！



国府地区でのワークショップ

経年比較の結果と今後の目標

市全体の総合得点は年々上昇しています。2012年度に比べ、「あんしん」の項目(自主防災組織率100%達成、防災行政無線の整備など)が上昇しました。

今後は、特定健診受診率の上昇や生涯学習環境の満足度アップ、スポーツ活動の推進により、「健やか」「生きがい・学び」の項目を重点的に高めていきます。

幸福度調査 「こまつ幸せへの道しるべ」

市民の皆さんの幸福度が「どのように変化したか」を明らかにし、今後の様々な取り組みに生かすため、金沢大学の協力をいただき、市民意識調査を今年度も実施しています。調査結果を基に、まちづくりについて住民自身が考えるワークショップを開催する予定です。



SDGs推進の原動力  
～多様なパートナーシップ～

小松市の明るい未来のために、企業をはじめ、大学・研究機関などが応援してくれています。市民の皆さんも一緒に何かできることはないか、考えてみませんか。

コマニー株式会社 × 小松市



協定では、コマニー株式会社の強みである心地よい空間づくりや防災の推進、ひとづくりなどの分野で共に行動していくことが取り交わされました。

世の中の幸せに貢献することがコマニーの信念です。協定を機に、互いの強みを生かすことで、持続可能なより良い未来づくりをさらに進めていければと思います。

コマニー株式会社 代表取締役社長執行役員 塚本 健太さん  
(写真右から4人目)

SDGs関連イベント

コマフェス2019

とき 8月24日(土)9時45分～15時  
ところ コマニー株式会社本社(工業団地1-93)

チャリティーイベントやフリーマーケットなど、催しが盛りだくさん。

小松市もSDGsの取り組みをPRします。



ピースフレイムムーブメント  
(木場潟キャンドルナイトウオーキング)

とき 8月31日(土)19時～20時30分  
ところ 木場潟公園 北園地

広島に投下された原爆の残り火である「平和の火」を灯し、世界の平和を考えるイベント。大切な人のために、平和について一緒に考えませんか。



SDGs推進に関するパートナー協定締結

パーティションの製造メーカーであり、小松市に本社を置くコマニー株式会社と小松市がSDGs推進に向けたパートナー協定を6月27日に締結しました。

コマニー株式会社は、昨年SDGs宣言をし、耐火性や耐震性に優れた製品づくりのほか、カンボジアでの図書館建設、災害ボランティアへの参加など、世界への広い視野で積極的な活動を展開しています。

今後は、研修会や普及啓発イベントの開催、次世代の育成などで協力を進めていきます。

市民・学生の  
学びの活動を応援

ワンハンドレッド

## 「こまつ100クラブ」活動助成



学校で、職場で、地域で、100通りのアクションを生み出そう！

例えば

- サイエンスヒルズこまつで、宇宙・科学の研究
- 曳山交流館みよっさで、歴史を学び、文化体験
- 那谷寺などの観光地を巡り、SNSで世界に発信 など

助成金額 上限5万円(1団体あたり)

対象団体

- 市内で活動する団体
- 5人以上
- 結成5年以内

対象活動

- 地域貢献のための活動
- コミュニティ活性化
- 生涯スポーツ推進
- 地域福祉 など

※団体の運営経費や団体メンバーへの謝礼、飲食費は対象外。申請書は市ホームページからダウンロードできます。



### PICK UP!

地域がつながることで  
大きな力が生まれます

## 地域協議会を設立しませんか？

地域協議会とは、地域団体(町内会、公民館など)が力を合わせて地域の困りごとや不安を解決したり、地域の将来について考えたりする場のことです。地域協議会を設立した場合、地域ビジョン(将来像)策定や自主活動、ひとづくりを支援します。

支援内容(補助率10/10)

- 地域ビジョンづくり 上限20万円
- ICTの活用(システム導入など) 上限30万円
- 地域交通(外出支援) 上限100万円

支援内容(補助率3/4)

- コミュニティ活性化事業(自主活動支援) 上限30万円
- コミュニティリーダーづくり(運営体制支援) 上限60万円

※支援は年度単位。利用回数などの制限があります。

問い合わせ はつらつ協働課 ☎24・8397

## 「SDGs推進のまちづくり」をみんなのGOALへ

これからも、皆さんのSDGsの取り組みを紹介していきます。

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8016



まちづくりを自分事として捉え、未来のビジョンを創造する思いが生徒たちに広がりました。

## NEWS

明るい未来の担い手と  
まちづくりを考える！

### 「令和」の始まりに よりよい未来を考える 特別授業 in 市立高校

7月3日、市立高校の生徒(1、2年生約400人)を対象に「地域課題を知る講演会(総合的な探究の時間)」が行われました。  
「未来を創りだす学びのチカラ」をテーマに、小松市長が講師を務め、小松市のまちづくりと未来を切り拓く「学びの意義」を熱心に伝えました。聴講した生徒の皆さんは、小松市長の講話を参考に、研究テーマを設定し、2学期から地域課題に関する研究に取り組んでいきます。

先人に感謝し、  
世界の発展や進歩に  
貢献できる人物になる。

今の小松をもっと、  
大切にしたい！

できることを  
もっと増やす！

小松で  
生まれ育ったことは  
「私の自慢」。  
小松大好き！

## 持続可能な未来のため、 わたしたちの ACTION



※聴講した生徒の意見(一例)



子育て支援に  
恵まれている小松。  
多くの人に  
知ってほしい！

「学びは  
自らやるもの」  
その言葉が  
心に残っています。  
授業を受けられない人が  
世界中にたくさん  
いるのに…。

明日、1年後、10年後と  
未来のビジョンを描いて  
行動することが大事なんだ

いつか、小松市の  
住みよさランキングを  
全国1位にしたい！

“これからの小松を  
創るのは私たち”

高い意識を持って  
勉強とボランティアに  
参加したくなった